

あのひとにインタビュー！

Yuan Tianfei Elena(袁 恬霏)さん

From Republic of Singapore

Hiroshima university



右) Interviewee Elena さん

左) Interviewer = 藤島



F: 今日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。先日の Farewell Party では、英語通訳を下って下さりありがとうございました。Elena さんは、日本語や英語の他に、中国語も話せますよね。

E: ありがとうございます。私は小学校入学前に、父の仕事の関係で中国に4年、日本に2年住んでいました。だから小学生の頃から、将来は海外に留学したいと思っていました。

F: そんなに小さな頃から決めていたなんて、すごいですね！

E: はい。シンガポールの教育制度では、卒業時の全国学力テストに基づき、次に進学する学校が決まります。つまり、同じ学力の同級生と、小学校から高校までの間、ずっと一緒にいることになります。私は、似たような人たちの中で、小学校から高校までずっと一緒に勉強することに、少し抵抗を感じていました。それはとても狭い世界で、窮屈だと思いました。だから海外の大学に行きたくて。

F: なるほど。では、留学先を日本に決めた理由は何ですか？

E: 私の卒業した高校では、生徒の約25%が、卒業後海外に留学しています。ある時、日本の大学職員の方が留学説明会に来ていて、そのときにじっくりお話を伺う機会がありました。小さい頃から、日本のアニメや音楽が好きで、日本に親しみがあつたこともあり、日本への留学を決意しました。実はその時点で、日本語はほとんど話せなかったんですけど…(笑)

F: へえ！運命的ですね！ちなみに、日本のどんなアニメが好きですか？

E: 「カードキャプターさくら」とか、「ポケモン」「デジモン」ですね。「さくら」は、主題歌も歌えますよ！(笑)

F: ああ、「カードキャプターさくら」私も大好きです！一緒ですね(笑)こうして日本のアニメの話、他の国の人とできるのって、嬉しいです。

F: ところで、Elena さんは日本に来て最初の頃、何か困ったことなどありましたか？

E: 最初は、東京外国語大学で1年間、日本語を専攻していました。東京は大都会で、人が沢山いますが、シンガポールと似ているため、環境にはすぐに慣れました。ただし、クラスメイトは既に日本語を学んできた留学生ばかりだったので、自分だけ話せないことが苦しかったですね。でも、留学生の友達のアドバイスのおかげで、随分話せるようになりましたよ。

F: なるほど、それはどんなアドバイスですか？

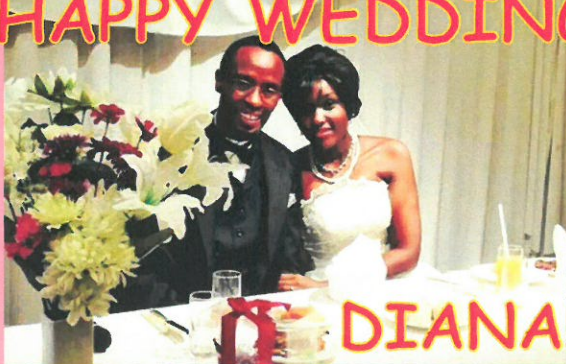
E: 「テレビのバラエティ番組を観なさい！」と言われました。だから、わざわざテレビを買いました。文法を学んで「書く」ことも大切ですが、「聞く」「話す」ことも大切です。文法通りに話していても、実際に日本の友人と話している間は、「なんでそんなに『です』や『ます』の敬語を使うの？やめなさい」って注意されたりして(笑)だから、テレビを観ることで、出演者のより自然な話し言葉を聞いて、覚えていきました。

F: これは参考になりますね。ありがとうございます。それでは最後に、I-HOUSE の皆さんへメッセージをお願いします。

E: はい。私は現在、薬学の勉強をしていますが、コミュニケーションに関わることが好きです。これからもI-HOUSE で多くの友人を作りたいと思っています。普段は学校で忙しく、なかなか行事に参加できませんが、例えばI-HOUSE のみんなでパネルディスカッションをしたりして、じっくり話してみたいです。今年の留学生会館祭りでは、司会を頑張りますので、よろしくお祈りします！

F: 私も同感です。是非、パネルディスカッションを実現させましょう！ Elena さん、ありがとうございました！ (文責: 藤島)

HAPPY WEDDING!!



DIANA!!



2014年8月23日、ケニアからの留学生 Njoya Diana Wanjiru さんが、結婚式を挙げました！ お相手はウガンダ出身の Ronald さんです。同い年のお二人はとっても仲良しです。末永くお幸せに！

編集後記 Editor's Voice

今月号はいかがでしたか？いつも皆さんの写真を選ぶのにワクワクしていますが、今月は、笑顔の写真が多い賑やかな記事になりました。こちらのレターは、広島市留学生会館ホームページからも閲覧することができますよ！



(MAMI)